

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 前島和弘	電話番号	0852-22-5167
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	林業・木材産業制度資金融資事業		
目的	(1) 対象	林業者、林業・木材産業の事業者	
	(2) 意図	制度資金の融資により、林業者、林業・木材産業の事業者の経営安定や健全化を図る。	
事業概要	林業を巡る情勢の著しい変化に対応して、林業者、林業・木材産業の事業者の経営安定や健全化を図るためには、経営の近代化、資本の高度化などによる経営改善や合理化を推進する必要がある。このため、林業者、林業・木材産業の事業者に対して、林業・木材産業改善資金、木材産業等高度化推進資金、木材協同組合育成資金等の無利子又は低利な林業関係制度資金を融資し、林業・木材産業の健全な発展を推進する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 貸付件数	目標値		10.0	10.0	10.0	10.0	件
	式・定義	取組目標値						
	改善資金件数+高度化推進資金件数+木協育成資金件数	実績値	8.0	4.0	8.0			
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
	達成率		-	40.0	80.0	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	60,532	173,577
うち一般財源 (千円)	0	18

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・林業木材産業改善資金の貸付実績はH27：4件（24,360千円）、H28：1件（8,280千円）、H29：5件（60,000千円）。
- ・木材産業等高度化推進資金の貸付実績はH27、H28、H29とも0件。
- ・木材協同組合育成資金の貸付実績はH27：4件（168,000千円）、H28：3件（125,000千円）、H29：3件（116,000千円）。
- ・民間銀行の低金利などにより、資金貸付は低水準で推移しているが、木材生産の増産に取り組む林業事業者も複数あり、貸付件数が増加。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・林業事業者による木材増産の取り組みが広がり、木材生産機械を購入のための資金利用等が進んだことから、件数が増加

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・林業事業者全体では、木材生産を増産し、事業量を増加させる傾向にあり、更なる木材増産に向けた生産基盤整備（生産機械の導入等）などに対する資金活用の動きかけは継続
- ・一方で、林業事業者では、事業量拡大に向け事業者の増員を希望しているが、ハローワーク等に求人しても、十分な応募がない状況。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・林業事業者における労働環境等は、他産業に比べ劣る点も多く、林業事業者に就職しても早期に退職したり、林業事業者の魅力が乏しいことが原因で新規の求職者が林業事業者を選択しない。
- ・林業事業者の就労環境改善など、魅力向上に活用できる国庫補助金は少なく、制度資金の活用もほとんどない状況。

③原因を解消するための「課題」

- ・林業事業者が取り組むべきことを、「経営方針の明確化」、「魅力アップ」、「労働条件の改善」と位置づけ、これらを進めるために融資事業も活用する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・平成30年度から「島根林業魅力向上プログラム制度」を創設し、各林業事業者の自発的な参加により活動方針を明確化させ、林業事業者の魅力向上と林業事業者の確保につなげる。
- ・このプログラムで掲げる活動方針を具体化するために、各事業者が行う木材増産など事業拡大の取組み支援に加え、担い手確保のための就労環境改善に向けた取組みに結び付け融資制度の活用を促していく。